

# 技 術 資 料

技資第106号

地中管路布設時の管路材質の違いによる許容電流

平成元年6月

社団法人 日本電線工業会

絶縁電線専門委員会

## 地中管路布設時の管路材質の違いによる許容電流

### 1. 地中管路材料の種類

地中管路材料の種類は、JIS C 3653-1987（電力ケーブルの地中埋設の施工方法）3.2項の中で規定されている下記に示すものとする。

- ① 鋼管（SGPなど）
- ② ポリエチレン被覆鋼管
- ③ コンクリート管（ヒューム管）
- ④ 硬質ビニル管（VPなど）
- ⑤ 波付硬質ポリエチレン管

### 2. 地中管路布設時の管路材質の違いによる許容電流

管路材質の違いによる許容電流への影響については、下記の通りに扱うこととする。

- ① 地中管路布設時の許容電流値は、硬質ビニル管以外の管路材を使用する場合には、JCS第168号D版その2-1の値を使用しても良いものとする。  
（鋼管＝波付硬質ポリエチレン管＝ヒューム管＞硬質ビニル管の関係）
- ② 地中管路材に硬質ビニル管を使用した時の許容電流値は、JCS第168号D版その2-1の値に0.95の補正係数を一律に乗じることとする。